

国語 六―一 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 尊敬の気持ちを言葉で表す。
- ② 自己中心的な考えを改める。
- ③ 多くの星座を見つけて感激もひとしおだ。
- ④ あまりの楽しさに我を忘れる。
- ⑤ 人を敬う心を大切にする。

国語 六―二 (読み)	第六学年の漢字（読み）			名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 胸中^{きゅうちゅう}を打ち明ける。
- ② 困難^{くわんなん}に負けず、仕事を成しとげる。
- ③ 予定^{よてい}より会議^{かいぎ}の時間^{じかん}が延びて困る。
- ④ 天皇皇后両陛下^{てんこうこうごうりやう}の海外^{かいがい}へのご訪問^{ごほうもん}が延期^{えんき}になる。
- ⑤ 希望^{きぼう}を胸^{きょう}にがんばろう。

国語 六―三 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 郷里^{きょうり}の古い城^{しろ}が世界遺産^{せかいいさん}に選ば^{えら}れる。
- ② 絹^{きぬ}の糸^{いと}をていねいに巻^まく。
- ③ 勤務先^{きんむき}の会社^{かいしゃ}の沿革^{こくわ}を調べ^{しら}べる。
- ④ 破^{やぶ}れた絵巻物^{えまきもの}を修復^{しゆふ}する。
- ⑤ 川沿い^{かわざい}に在^ある町工場^{まちこうじやう}に勤^{いそ}める。
- ⑥ 物語^{ものがたり}の上巻^{うわまき}を読^よみ終^はえる。

国語 六―四 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 洗^{せん}たく物^{ぶつ}を干^ひしてから机^{けい}の上^{うへ}を整理^{せいり}する。
- ② 劇場^{げきじやう}の裏口^{うらぐち}を警備^{けいび}する。
- ③ 恩師^{おんし}のはげまし^{はげまし}の言葉^{ことば}に感激^{かんげき}する。
- ④ 山沿^{さんぞい}いの地域^{ちいき}に激^{げき}しい雨^{あめ}が降^ふる。
- ⑤ 干満^{かんまん}の差^さが大きい。

国語 六―五 (読み)	第六学年の漢字（読み）			名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	--	----	---	---	---	------------------

の漢字の読みを

の右側に書き

ましょう。

- ① 異国への旅は貴重な経験である。
- ② 異なる文化を理解するのは簡単ではない。
- ③ 骨が折れ、痛みで呼吸もできない。
- ④ 先生から職員室に呼ばれる。
- ⑤ 鉄骨造りの建物。
- ⑥ 清らかな空気を胸いっぱい吸う。

国語 六―六 (読み)	第六学年の漢字（読み）			名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 砂場^{すなば}で穴^{あな}をほる。
- ② 内閣^{ないかく}総理大臣^{そうりだいじん}の指示^{しじ}に従^{したが}う。
- ③ 砂金^{すなご}を見^みつけ^{つけ}る。
- ④ 日本^{にっぽん}国憲法^{こくけんぽう}に関^{かん}する一冊^{いっさく}の本^{ほん}を読^よむ。
- ⑤ 主君^{しゅくん}と家来^{けらい}が主従^{しゅじゆ}関係^{かんけい}を結^{むす}ぶ。

国語 六―七 (読み)	第六学年の漢字(読み)		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 親孝行をする。
- ② 厳しい現実を知る。
- ③ 提出期限を厳守する。
- ④ 紅葉が美しい季節になる。
- ⑤ 大学生になった姉が口紅を使う。

国語 六―八 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 木の切り株があちこちにあって危険だ。
- ② 映画のあら筋を説明する。
- ③ 湖面に山が映る。
- ④ 危ない場所に近づいてはいけない。
- ⑤ 兄は筋肉質で引きしまった体型だ。

国語 六―九 (読み)	第六学年の漢字(読み)		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字^{かん}の読み^よを
の右側^{みぎがわ}に書き^か
ましょう。

- ① 誤字^ごだつ字^じに注意^{ちゅうい}する。
- ② 言葉^{ことば}の使い方^{つかいほう}を誤^{あや}る。
- ③ 疑問^{ぎもん}を解決^{かいけつ}する。
- ④ 友達^{ともだち}を疑^{うたが}うことはしない。
- ⑤ 朝食^{ちうしき}を簡単^{かんぱん}に済^すます。

国語 六―十 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 季節外れの商品を五割引きで売る。
- ② 国会の会期を延ばす。
- ③ ボールが当たり、窓ガラスが割れる。
- ④ お年玉を両親に預ける。
- ⑤ 権力を行使する。
- ⑥ 預金通帳を大事に管理する。

国語 六十一 (読み)	第六学年の漢字（読み）	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

① どんよりとした灰色の、今にも雨が降り出しそうな空模様だ。

② 予報では降水確率が高い。

③ 大規模な工事を計画する。

④ 水を供給するシステムを整備する。

⑤ 墓前に花を供える。

⑥ 子供たちがバスから降りる。

国語 六十二 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字の読みを
の右側に書き
ましょう。

- ① 父は鉄鋼業を営む会社に勤めている。
- ② 大声で友達を呼ぶ。
- ③ 限られた資源を大切に使う。
- ④ 自分の元気の源は朝ご飯だ。
- ⑤ 解決策を考える必要がある。

国語 六十三 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 会議を開始する時刻になった。
- ② トラックから荷物を降ろす。
- ③ あの日のできごとを心に刻む。
- ④ 困っている人々を救済する。
- ⑤ にぎやかな食事が済む。

国語 六―十四 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
--------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 諸外国から観光客が温泉地にやってくる。
- ② 校庭の夏みかんがすっかり熟した。
- ③ 冷たい水がわき出る泉。
- ④ 法案が衆議院で可決された。
- ⑤ この織物は洗うと縮む。
- ⑥ 効率化を進め、作業時間を短縮する。

国語 六―十五 (読み)	第六学年の漢字(読み)		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
--------------------	-------------	--	----	---	---	---	---------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① ユネスコの親善大使が姿を現す。
- ② 養蚕業では、蚕のまゆを収かくする。
- ③ 選手として成功を収めたのち、かんとくに就任した。
- ④ 前向きな姿勢が評価される。
- ⑤ 善い行いを心がける。

国語 六十一十六 (読み)	第六学年の漢字（読み）	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 窓^{まど}の寸法^{すんぽう}を測^{はか}る。
- ② 垂直^{ていしき}に切り立^{きりたち}つがけが車窓^{くるまど}から見^みえる。
- ③ 立派^{りっぱ}なとう磁器^{じき}が割^{やぶ}れて水^{みづ}が垂^たれる。
- ④ 傷口^{きずぐち}を応急^{おうきゅう}処置^{しちじ}した。
- ⑤ 機械^{きかい}の操^{くわ}作^{さく}ミスを防^{はか}ぐ。
- ⑥ 事故^{じこ}にあつたが、幸^{さい}いにも軽傷^{けいけい}で済^すんだ。

国語 六十七 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 安全装置が内蔵された機械を開発する。
- ② もう忘れ物はしないと宣言した。
- ③ 友人の誠実な態度に心が洗われた。
- ④ 洗たく機が故障した。
- ⑤ 友人の意見を退ける。
- ⑥ 腹痛で早退する。

国語 六十八 (読み)	第六学年の漢字（読み）	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字^{かんじ}の読み^{よみ}を
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 家賃^{かぜん}を納^なめるため大^{だい}家^かの家^{いえ}を訪^まねる。
- ② 布^ふをど^{どの}の色^{いろ}で染^ぞめるか検^{けん}討^{たう}する。
- ③ 物^{もの}事^じの系^{けい}統^{とう}性^{せい}につい^つて考^{こう}え^える。
- ④ 同^{どう}盟^{めい}国^{こく}を訪^ま問^{もん}する。
- ⑤ 国^{こく}民^{みん}に納^な税^{ぜい}の義^ぎ務^むが^があ^ある。

国語 六―十九 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 新あらたしい文化ぶんかを創つくるのは若者わかしゅたちだ。
- ② かれは独創どくそう的な演奏えんそうをする。
- ③ 長ながい階段かいだんを負擔おんに感かんじる。
- ④ 大会たいかいへの参加さんかが認められる。
- ⑤ ああの俳優俳優は演技えんぎが上う手だ。

国語 六―二十 (読み)	第六学年の漢字 (読み)		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き
ましょう。

- ① 姉^{あね}の好物^{こうぶつ}は卵料理^{たまごりょうり}だ。
- ② 世界^{せかい}には多くの宗教^{しゅうきょう}がある。
- ③ 昨晚^{けつばん}の事^{こと}は秘密^{ひみつ}にしておこう。
- ④ 国会^{こくかい}で野党^{やとう}の議員^{ぎいん}が総理大臣^{そうりだいじん}に質問^{しつもん}する。
- ⑤ 東京都^{とうきょうと}にある庁舎^{ちやうしゃ}の場所^{ばうしよ}を確かめる。
- ⑥ ここは私有地^{しよゆうち}です。

国語 六―二十一 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き
ましょう。

- ① 従来^{じゆんらい}のやり方^{やりかた}を改善^{かいぜん}することは難^{がた}しい。
- ② 困難^{こんなん}な問題^{もんだい}だが解決^{かいけつ}に向けて努力^{どりょく}しよう。
- ③ 地層^{ちそう}に興味^{きょうみ}がある。
- ④ 誕生日^{たんじうび}に花^{はな}が届く^{とどく}ように手配^{てはい}した。
- ⑤ 俳句^{はいく}の雑誌^{ざっし}を買^かう。

国語 六―二十二 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番
			取り組んだ日 月 日			

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 人間にんげんの脳のうは幼児期ようじきに急速きゅうそくに発達はつたつする。
- ② 幼い子供こどもたちを前まえにして朗読ろうどくを行う。
- ③ 法律はうりつの勉強べんきょうをする。
- ④ 毎朝まいあさ、牛うしの乳ちゅうをしぼる。
- ⑤ コーヒーこーひーに牛乳ぎゅうにゅうと砂糖さとうを入れる。

国語 六―二十三 (読み)	第六学年の漢字(読み)		名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	-------------	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 友達と背中を合わせて背比べをする。
- ② すぎ並木の背後に山頂が見える。
- ③ 山の頂から日の出を拝む。
- ④ 推理小説の本を頂く。
- ⑤ 自宅は郵便局の並びに在る。
- ⑥ 父の百科事典を拝借する。

国語 六―二十四 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字の読みを
の右側に書き
ましょう。

- ① 江戸幕府の初代将軍は徳川家康だ。
- ② 弁論大会が幕を開ける。
- ③ 署名を集めるため、奮起した。
- ④ 勇気を奮う。
- ⑤ 弱点を補うため、選手を補強する。
- ⑥ 公園の樹木をながめる。

国語 六―二十五 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① ごみ箱^{ごみば}に、ごみを捨^すてる。
- ② 答^{こた}えを四捨五入^{しよしごにう}して記述^{きじゆ}する。
- ③ 尺八^{しゃくはち}は太^ふく重^{おも}こ^うな音^{おと}を出^です樂器^{がくき}だ。
- ④ 班長^{はんちやう}を尊敬^{そんけい}して^いる。
- ⑤ かれの夢^{ゆめ}は宇宙飛行士^{うちゅうひやうし}になることだ。
- ⑥ 海岸^{かいがん}で美^うしい貝^{かい}がらを拾^{ひろ}う。

国語 六―二十六 (読み)		第六学年の漢字(読み)		名前	
		年	組	番	
				取り組んだ日	
				月	日

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 朝晩、川沿いの道を走る。
- ② 平和の大切さを痛感した。
- ③ 山の頂上でお弁当を食べる。
- ④ 一枚の絵画が、先祖の残した家宝だ。
- ⑤ 飛行機の模型が妹の宝物だ。

国語 六―二十七 (読み)	第六学年の漢字（読み）			名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	-------------	--	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 批判^{ひはん}を承知^{しょうち}で今後^{こんご}の方針^{ほうしん}を述べ^{のべて}る。
- ② 注射^{しゅうしやう}の針^{はり}を見^みるのが苦手^{くるで}だ。
- ③ 日^ひが暮^くれたので照明^{しやうめい}をつけ^{つけ}る。
- ④ 兄^{あに}は最近^{さいきん}、一人暮^{ひとりく}らしを始^{はじ}めた。
- ⑤ 的^{てき}に向^{むか}けて矢^やを射^やる。
- ⑥ 提^{てい}案^{あん}に対^{たい}して否^ひ定^{てい}的^{てき}な意^い見^{けん}が出^でる。

国語 六―二十八 (読み)	第六学年の漢字（読み）			名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	-------------	--	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 縦と横の長さから面積を求める。
- ② その作家の著作を多数保存している。
- ③ 画家の個展に多くの人が来訪した。
- ④ いくつか飛行機を操縦してみたい。
- ⑤ 会社の存亡をかけた商品を開発する。
- ⑥ ほ乳類のイルカは肺で呼吸する。

国語 六―二十九 (読み)		第六学年の漢字(読み)		名前	
年		組		番	
取り組んだ日		月		日	

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

- ① 城^{しろ}の石段^{いしだん}を登^{のぼ}った翌日^{あした}は足^{あし}が痛^{いた}かった。
- ② 病院^{びやういん}で内臓^{ないざう}の検査^{けんさ}を受け^うける。
- ③ 台風^{たいふう}のため至^{いた}る所^{ところ}で交通機関^{こうつうきかん}が混乱^{こんらん}した。
- ④ 服装^{ふくそう}の乱れ^{みだれ}を整^{ととの}える。
- ⑤ このままでは問題^{もんだい}の長期化^{ちがいきわ}は必至^{かならず}だ。

国語 六―三十 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^か
ましょう。

- ① 月面探査機の打ち上げを計画する。
- ② 片方の窓を閉める。
- ③ 水分の蒸発を防ぐため、ふたを閉じる。
- ④ ジャムを保存する密閉容器を探す。
- ⑤ 値段は高いが、それに見合う価値のある商品だ。

国語 六―三十一 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 臨時列車の乗車券を買う。
- ② 温暖な気候の土地で暮らす。
- ③ 暖かいので上着は必要ない。
- ④ 暑い季節は食欲が無くなる。
- ⑤ 地図の縮尺を調べる。

国語 六―三十二 (読み)	第六学年の漢字（読み）		名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日						

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^か
ましょう。

- ① 道路の拡張工事を指揮する。
- ② 銭湯の看板を新しくする。
- ③ 通訳の仕事に転職しようと腹を決める。
- ④ 展覧会が中止になった訳を説明する。
- ⑤ ラーメンの大盛りを食べて満腹になった。

国語 六―三十三 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	--------------	----	---	---	---	---------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましよう。

① 敵^{てき}ながら、見事^{けんじ}な戦^{いくさ}い方に舌^{した}を巻^まく。

② 胃腸^{いちょう}の調子^{てうし}が良い。

③ かれの相棒^{さうぼう}は職務^{しよくむ}に忠実^{ちゅうじ}だ。

④ うず潮^{うしほ}が一番^{いちばん}大きく見えるのは満潮^{まんしほ}の時^{とき}だそうだ。

⑤ 作詞^{さくし}の勉強^{べんきやう}をするために専門^{せんもん}学校^{がっこう}に通う。

国語 六―三十四 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 観衆^{かんしゆ}が土俵^{どひよう}の上^{うへ}の力士^{りきし}を注視^{しゆし}する。
- ② オリンピック^{おりんぴく}の聖火^{せいふ}リレー^{りれー}が始まる^{はじまる}。
- ③ 純^{じゆん}すいな気持^{きもち}ちを忘^{わす}れな^{ない}い。
- ④ 「医^いは仁術^{にじゆつ}」とい^いう格言^{ごくごん}がある^{ある}。
- ⑤ 農夫^{のうふ}が米俵^{こめひよう}を軽々^{けいけい}とかつぐ^{かつぐ}。

国語 六―三十五 (読み)	第六学年の漢字（読み）			名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	-------------	--	--	----	---	---	---	------------------

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き^かましょう。

- ① 多くの穀物を海外から輸入する。
- ② 不純物を取り除く。
- ③ 家臣を従えて出かける。
- ④ 人体に有害な物質を除去する。
- ⑤ 布を裁断して洋服を作る。
- ⑥ 法律で裁く。